



## 古典沼にハマって

3/21 [月・祝]

中ホール  
コラム P5

人形浄瑠璃文楽

【昼の部】13時開演

一谷嫩軍記 いちのたにかたはくんぎ

【夜の部】17時開演

曾根崎心中 そねざきしんじゅう

撮影:青木信二

### 特集1 P2

こうして2人は沼にハマっていった…  
おしゃべり古典サロンかわら版

サンタクロースから  
桂米朝全集第1巻をもらった  
木ノ下裕一



9歳で飛び六法の  
マネをしていた  
田中綾乃

### 特集2 P3

様々なメディアで見せる多彩な顔に注目  
犬山紙子インタビュー



「男の子はピンクを着ちゃダメ」と言う3歳の娘に、  
犬山さんはどう対応したか?

- 02 特集1 おしゃべり古典サロンかわら版
- 03 特集2 犬山紙子インタビュー
- 04 イベントインフォメーション、主催事業ピックアップ 1~3月
- 05 カルレク! 気軽に楽しむ文化のレクチャー
- 06,07 Znews 文化交流ゾーンインフォメーション
- 08 読者プレゼント



# おしゃべり 古典サロン

版  
特集1

## 古典の「コ」がアツい!

8月14日に7回目を終えたおしゃべり古典サロン。サロン終了後の楽屋で、講師の木ノ下裕一さんと三重大学の田中綾乃さんに、古典を偏愛するお二人の原点についてざっくばらんに語っていただきました。

### とにかく

### 「すごいの見ちやっつた!」

——お二人が古典芸能にハマったきっかけを教えてください。

**田中** 私は、小さい時からよく名古屋の御園座で歌舞伎を観ていました。9歳の頃に『勧進帳』を観て、弁慶の最後の飛び六法がよほど印象的だったのでしよう。その後、家で飛び六法のマネをしていました。その頃、歌舞伎役者になりたかったのです(笑)。それを見ていた母親から真面目な顔で「あのね、歌舞伎役者は男の子しかねないのよ。しかも普通のおうちの子でなるのは大変なのよ。」と言われて、とてもショックを受けたことを覚えています(笑)。(後から、名古屋には\*むすめ歌舞伎があったことに気づきましたが...)。その後は、10歳で華やかな宝塚を観て、中学生の時に東宝ミュージカルの『レ・ミゼラブル』にハマり、中学3年生の時に北村想さんの『寿歌』に出会いました。その頃、鈴木忠志さんの『演劇とは何か』(岩波新書)を読んで、小劇場というジャンルを知りました。こう考えてみると、私の演劇との出逢いは、歌舞伎→宝塚→ミュージカル→小劇場の順に辿っていったのです。

**木ノ下** 面白い! 演劇史を古い方から観ていったのですね。

**田中** 中学、高校と演劇部だったので、その頃は小劇場(現代劇)が新しく、歌舞伎は伝統芸能という認識でしたが、1994年に第1回の\*コクーン歌舞伎で五代目中村勘九郎さん(十八世中村勘三郎)の『東海道四谷怪談』を観て衝撃を受けました。それまで中村屋の芝居はいわゆる伝統的な歌舞伎公演の中で観ていましたが、コクーン歌舞伎は、テンポも演出も古典の垣根を飛び越えていて、「歌舞伎を含めた演劇が変わる!」と思うほどのインパクトがありました。「古典が現代になりうる」とつくづく実感しました。当時の観客の熱気もすごかった。評判が評判を呼んで、連日、当日券を求めるお客さんで長蛇の列ができていました。千種楽では、ジャズの生演奏の中で、役者たちが本水の中で立ち廻りをして。今ではそういう演出もありますが、その頃は



前衛的すぎて(笑)、その体験が深く身体に刻みこまれました。とにかく「すごいの見ちやっつた!」、それが20歳頃。

### 「古典ヤバイ!」と 思ったのが小学3年生。

**木ノ下** 僕自身は和歌山市出身で、全くそういった環境になく。偶然町内会のイベントで落語を聞く機会があり、「古典ヤバイ!」と思ったのが小学3年生。ただ、その頃はインターネットもなく、CDショップに落語のCDもない。だから落語にハマりたい、沼に浸りたいと思っても、その沼の水がないんです。テレビ欄をチェックして落語に○をつけたり、図書館に通ったりして、CD化された初代の\*快楽亭ブラックなんかを必死に聞いていました。様々な手を使って親を口説いたり、お小遣いの範囲で落語会に行ったり、その1回の落語会にかけの意気込みがすごくて。落語って最後にできた芸能なので、それまでの色んな古典芸能のパロディでもあるんです。だから歌舞伎や文楽もハマるだろうなという予感が小学生の段階でありました。

——テレビで気軽に触れられる「お笑い」などの芸能もあつた中で、落語にビビったときは?

**木ノ下** 今から思えば、マンガやお笑いとは手触りが全然違つたんだと思います。僕らの時代はスーパーファミコンやゲームボーイが出始めた頃で、ポケモン最盛期。つまりビジュアル優先。でも落語って、ビジュアルだけ見ればオジサンが座布団に座っているだけなんです。しかも分らない言葉もたくさん出てくるので、これは自分の蓄積しているもので見え方が変わるぞと、俄然知りたくなりました。

**田中** やはり話芸の魅力ですよ。話芸は頭のなかで想像をかきたてる芸能です。

**木ノ下** 作品を観て面白くなかつたら、普通自分が悪いとは思わないですよ。わからない! つまらない! と思つてしまいます。だけど、落語はそうさせてくれないんです。観る側の解像度(知識があるかどうか)の問題になる、それが良かったのだと思います。

——木ノ下さんも田中さんにとつての  
コクーン歌舞伎のように、古典の見方を  
強く変えた作品はありますか?

**木ノ下** ある時、\*桂米朝師匠の全集第1巻をサンタクロースがくれたんです。その巻末に米朝師匠による解説で、「この落語は、もとはこういうオチだけれど、分かりづらいうから私がこのように変えた」とありました。再構築していただいた。それまで古典落語は一言一句変えずに伝承されていると思つていて、米朝師匠の落語だけなぜかクリアに聞こえて内容がわかるのが不思議でした。それは、単に米朝師匠が上手いからだと思つていたのですが、「違う! 米朝師匠が自分で現代に合わせて、ネタをリクリエー

ションしている」ということを知つたんです。そこから、古典というのは、誰かが多かれ少なかれ時代に合せてチューニングしているんだということに、まんまと騙された感と、一方でチューニングの面白さに気付きました。それが小学5、6年生くらいの頃です。

——近年、古典芸能の現場でも様々な新しい取組や発信が生まれていますが、最新事情やお二人の考える古典芸能の未来を教えてください。

**田中** 古典芸能の展望が明るいかというと、決してそうではなくて。例えば、昔の歌舞伎役者という短足で胸が長い5頭身くらい(?)がちょうどよいとされていたのが、食生活の変化などで今の若い人たちは手足が長くなって、腰を落とすという所作や身体自体も変わってきています。

**木ノ下** 観客の問題もあつて、これまでは歌舞伎の物語がまだ身近だったと思うんです。それは生活習慣や言葉の端々で古典の所作を共有している文化的な財産があつたから。それが失われた今、古典だよなで終わつてしまいます。ガラス一枚隔てた話を観ている感覚なんです。それは危険。古典は現代を跳ね返すわけですから、私たち観客も自分たちの生活と地続きのものとして考えていかなければならないのかもしれない。

**田中** ただ、最近ポジティブな話題もありました。『桜姫東文章』(以下、「桜姫」)をオタク的に観る人たちが出てきたのです。

**木ノ下** 「桜姫」を観た若い子たちの間で、漫画やアニメのようにこの作品を楽しむ感想がSNSなどで話題になりました。例えば、冒頭の清玄と白菊丸の心中事件。この二人は男性同士なので「BL」で萌えます。ほかにも桜姫が清玄を冷たくあしらう態度は桜姫の「塩対応」、桜姫の想い人・不良の権助が桜姫の頭をポンポンするのは「ポンポン萌え」。

**田中** 物語全体ではなく、部分的に萌えを感じる新しい楽しみ方ですね。**木ノ下** それは彼女たちが古典というフィルターをかけずに、漫画やアニメ、二次創作と並列に観ているからなんです。

## 基本的に古典は ネタバレしてから勝負。

**田中** 古典でしばしば登場する「忠義のために自分の子どもを手にかける」といったことは、確かに今のモラルからすると受け入れられないでしょう。けれど、現代でも不条理なことはたくさんあります。生きていく限り、この世はまなりません。災害もしたり。設定や価値観は違えど、古典に描かれている悲劇は、今に共通するものがあります。そういった観点から古典を見ると、人間の業や、やるせなさを感じられ、グッと古典が身近になります。

**木ノ下** 年齢によっても感じ方が違いますよね。基本的に古典はネタバレしてから勝負。ネタバレしても面白いと思えるのは、観る側も演じる側も変化しているから。20歳の時にはわからなかつた痛みがわかるようになることも。古典は一生モノの趣味になります。



——最後に、次回1月にvol.8で取り上げる作品『助六』について  
も少しだけお話しただければ!

**木ノ下** 次回は1月ということで、お正月らしい華やかな作品をと『助六』を選びました。『助六』は、『曾我物語』を下敷きにしたもの。通例的に江戸歌舞伎でお正月に上演されます。魅力のひとつはキャラクターショー。色々な俳優が出演し、芸のカタログ帖のような作品です。

**田中** 役者のデパートと言われることも多い。『助六』を見ると、歌舞伎の主なキャラクターを網羅できます。おそらく歌舞伎十八番の中でも『勧進帳』に次いで有名な演目ですね。

——お二人もありがとうございます。1月の「おしゃべり古典サロン」が読者の皆様にとって古典沼への一歩となることを願っています。会場でお待ちしております。



\*注釈  
飛び六法: 右手と右足、左手と左足を同時に飛ぶように歩く様式。  
むすめ歌舞伎: 女性のみで構成される歌舞伎。成田屋の市川宗家が指導にあつた市川少女歌舞伎からの流れを汲み、1968年に発足。  
コクーン歌舞伎: 渋谷のBankamuraにある劇場シアターコクーンにて、演出家 串田和美と十八世中村勘三郎がタッグを組み、1994年に誕生。古典歌舞伎を斬新な演出で上演する。  
快楽亭ブラック: 明治・大正に活躍した落語家、オーストラリア生まれのイギリス人。  
桂米朝: 上方落語の復興と発展に力を尽くした落語家。2009年、落語家では初の文化勲章受章。人間国宝。  
曾我物語: 曾我兄弟が父親の仇である工藤祐経を討つた事件をもとにした鎌倉時代後期の軍記物語。



木ノ下裕一  
(木ノ下歌舞伎主宰)

1985年和歌山市生まれ。2006年に古典演目上演の補綴・監修を自ら行う木ノ下歌舞伎を旗揚げ。『三人吉三』にて読売演劇大賞2015年上半期作品賞ノミネート。平成28年度文化庁芸術祭新人賞、第38回(令和元年度)京都府文化賞奨励賞受賞。



田中綾乃  
(三重大学人文学部准教授)

名古屋生まれ。東京女子大学文学部哲学専攻卒業。同大学院博士課程修了(人間文化科学博士)。専門は哲学、美学、演劇論。カントの哲学研究を行う一方、長年の観劇歴から演劇批評にも携わる。現代演劇の批評を中心に、歌舞伎や文楽の筋書や解説講座も担当中。

1/29[土] 多目的ホール

おしゃべり古典サロンvol.8『助六』

14:00~16:00(13:30開場)(途中休憩有) 全席自由 1,000円  
三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122





特集2

# 犬山紙子 インタビュー

毎年3月8日は「国際女性デー」。今年度のフレンテみえ「男女共同参画フォーラム～みえの男女(ひと)2022～」では、犬山紙子さんをゲストにお迎えし、開催します！日本テレビ系列「スッキリ」でコメンテーターを務め、『アドバイスかと思ったら呪いだっただ。』『すべての夫婦には問題があり、すべての問題には解決策がある』等数々の著書が出版されるなど、テレビ、ラジオ、雑誌、Webなど様々なメディアで活躍中の犬山さん。犬山さんの素顔に少しでも迫るべく、フォーラムに先駆けてお話をうかがいました！



犬山さんは、テレビなどで見る印象と著書やwebインタビューの印象など、見るメディアによって多彩な顔をもっているように感じ、その変幻自在ぶりにはある種の“しなやかさ”を感じます。メディアに出られる際、大切にされていることはありますか？

属性の話でない限り、「主語を大きくしないこと」を大切にしています。言い切るほうがテレビ映えはするのですが、決めつけによって差別や偏見を助長したくないという気持ちが強くあります。過去はそういったこともわからず、誰かを安易にカテゴライズしてしまっており、猛省しているところです。

また、取材や実際に会った人たちの生の声を大切にしながら、「知ったかぶらない」こと、専門家がいない時はなるべく質問をするようにすること、などを心がけています。やはり私は専門家ではないので、一般の生の声をどう伝えるのか、が大切じゃないだろうか。マジョリティの影に隠れた「マイノリティの声や立場の弱い人の悩み」も拾い上げたいという気持ちもあります。

また、男性の中で女性一人で意見を言う、などのケースはどうしても萎縮してしまいがち。そういった時は心の中で強い女性を思い浮かべてから挑むようにしています。不思議と萎縮せず話せるようになるんです。

犬山さんはブログやSNS等で夫婦での子育ての様子をユニークな視点で発信されていますね。子育てをされていて印象的だったエピソードを教えてくださいませんか？

まずは夫が娘と二人で新幹線に乗っていたら「誘拐」と通報されたことです。当時娘は2歳でイヤイヤ期の真っ最中。新幹線のデッキで泣いている娘と夫の姿を見た人が「誘拐では？」と思い通報したようです。この、通報自体は「子どもを守ろうとした」行動なのでむしろ「うちの子を心配してくれてありがとう」の気持ちです。

誘拐に見えてしまった背景には「小さな女の子と男性が二人で新幹線に乗り、イヤイヤをなだめている」という状況がまだまだ珍しいからということもあるだろうと感じました。例えば私と娘二人だと違っていたのかも、と思います。

また、娘が「男の子はピンクを着ちゃダメ」と3歳の時に言い出した時も悩みました。「ピンクを好きな男の子がそれを聞いたら悲しいよ」と説明しても3歳だとなかなかわかってくれず……友人にも相談して悩んだ結果、夫がピンクの服を購入して着るように。4歳になった今「ピンクに男の子も女の子もないね」と理解してくれたようです。

オリンピック前後から「ジェンダー」ということばを耳にすることが多くなってきていると感じます。「ジェンダー」について、何か感じることはありますか？

これまでもたくさん問題はあったのですが、オリンピック周辺からメディアが報道するようになったと感じています。

例えば「男らしさ」。男は弱音を吐いてはいけない、男は泣いてはいけない、男は外で働き妻と子どもを養わなければいけない……そんな「男らしさ」を押し付けられて苦しんでいる男性がいます。本当は育児をしたいけれど、会社の中で上司の理解がなく育休を取りたいと言いつけない男性。

悩み事を抱えているけれど「弱音を吐いてはいけない」と一人で抱え込んでしまって、メンタルの調子を崩してしまう男性。

女性は働く上でまだまだ平等とは言えない現状があります。例えば採用の時点で「子どもがいる女性」が敬遠されてしまうこと、子どもを持つとマミートラックと呼ばれる、出世コースとは外れたキャリアになってしまうこと……。

ジェンダーではなく個人個人で見られる社会になると良いなあと思っています。

ありがとうございます。フォーラムでは、さらに深い話についてもお聞きできることを楽しみにしています。最後に、Mニュースをご覧になっている三重県のみなさんに、一言メッセージをお願いします！

国際女性デー、ぜひ一緒に知り、考えられる機会にできると嬉しいです。それは性別にかかわらず全ての人が生きやすいくられる社会につながると思っています。

## 犬山紙子(イラストエッセイスト)

仙台のファッションカルチャー誌の編集者を経て、家庭の事情で退職。20代を難病の母親の介護をしながら過ごす。2011年、女友達の恋愛模様をイラストとエッセイで書き始めたところネット上で話題になり、マガジンハウスからブログ本を出版しデビュー。現在はTV、ラジオ、雑誌、Webなどで粛々と活動中。2014年に結婚、2017年に第一子となる長女を出産してから、児童虐待問題に声を上げるタレントチーム「こどものいのちはこどものもの」の立ち上げ、社会的養護を必要とする子どもたちにクラウドファンディングで支援を届けるプログラム「こどもギフト」メンバーとしても活動中。その反面、ゲーム・ボードゲーム・漫画など、2次元コンテンツ好きとしても広く認知されている。

『すべての夫婦には問題があり、すべての問題には解決策がある』 犬山紙子、扶桑社刊



## 男女共同参画フォーラム ～みえの男女2022～ いまこそ身軽に、シンプルに「本当の“あなた”になる」

同時開催：第34回 農山漁村のつどい

3月5日(土) 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」多目的ホール ほか

10:00～15:30(ホールイベント 13:30～15:30)

ホールイベントゲスト：犬山紙子(イラストエッセイスト)

入場無料 ※事前申込制・先着順 定員：150名  
申込：ホームページ、Eメール、電話、郵送、FAX、窓口  
託児：0歳3か月～小学校3年生程度(託児料/子ども1人につき1,000円)  
場：三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」059-233-1130  
共催：三重県/「第34回農山漁村のつどい」実行委員会

みんなが自分らしく生きられるために…  
今できることを考えてみませんか

毎年3月8日は「国際女性デー」。この日に合わせて、フレンテみえでは「女性の生き方を考える」をテーマに男女共同参画フォーラムを開催し、ホールイベントや分科会、パネル展などを行っています。今回はホールイベントのゲストに犬山紙子さんを迎え、女性はもちろん男性も、すべての人が自分らしく生きるため、一人ひとりがどう考え、何をすべきかを考えていきます。



国際女性デーとは？ 国連が1975年に定めた「女性への差別撤廃や女性の地位向上」を訴える日です。この日は「女性の生き方を考える日、女性に感謝を伝える日」として世界各国で記念行事やイベントが開催されます。周りの女性に感謝を込めて贈り物を贈る風習がある国もあります。



1月

Table of events for January, including New Year Concert 2022, Ring Dance, and various parties.

2月

Table of events for February, including support forums, seminars, and piano recitals.

3月

Table of events for March, including classical music lectures, forums, and dance parties.

主催事業ピックアップ

2022.1~3月

新型コロナウイルス感染症の影響により掲載している催しが変更(中止・延期)になる可能性があります。詳細は主催者へお問い合わせください。

三重県総合文化センター イベント 検索

2/16[水] 多目的ホール

三重のまなび2021 まなびいすとセミナー 楽楽文楽塾 一文楽のツボ

14:00開講(13:15開場) 講師:葛西聖司(古典芸能解説者) 料金:1,000円(当日受付にてお支払いください)



2022年3月21日(月・祝)に中ホールで行われる文楽『一谷嫩軍記(いちのたにふたばぐんぎ)』『曾根崎心中』をより楽しむための見どころ・聴きどころを分かりやすく話していただきます。

3/19[土] 大ホール

久石譲指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団 特別演奏会

16:00開演(15:15開場) 全席指定 S席8,000円、A席7,000円、B席6,000円、C席5,000円



お待たせいたしました! 久石譲×新日本フィル、三重だけの特別演奏会。

予定曲目 久石譲/DA・MA・SHI絵 Spirited Away Suite (『千と千尋の神隠し』組曲) ベルリオーズ/幻想交響曲

1/8[土] 大ホール

ニューイヤー・コンサート2022 新日本フィルハーモニー交響楽団

14:00開演(13:30開場) 全席指定 S席5,000円、A席4,000円、B席3,000円、C席2,000円

指揮:原田慶太楼 ソプラノ:小林沙羅 司会:田添菜穂子

新日本フィルが奏でる、シュトラウス作品を中心とした名曲の数々。飛び切りハッピーなコンサートで1年の幕開けを寿ぎましょう。



2/27[日] 3/6[日] (2回連続講座) 多目的ホール

まなびいすとセミナー 講座ボランティア企画 シリーズ文学 小泉八雲の日本愛 ~ハーン先生の見た小さな妖精の国~

13:30開講(13:00開場) 講師:河原徳子(日本文学研究者) 料金:無料 事前申込制・先着順・自由席



ラフカディオ・ハーン、のちの小泉八雲は、日本人のこころを深く見つけた西洋人です。愛する日本人々と風物を印象的に描いた『日本の面影』『怪談』その他の作品を、朗読をする中で味わいたいと思います。

3/20[日] レセプションルーム

ものしりトラベラー 戦国を駆け抜けた水軍大将 九鬼嘉隆と鳥羽城

13:30開講(13:00開場) 講師:豊田祥三(鳥羽市教育委員会文化財専門員) 料金:無料 事前申込制・先着順・自由席



観光とまなびをテーマにお送りする「ものしりトラベラー」。今回取り上げるのは戦国時代に九鬼水軍として名を馳せた九鬼嘉隆の城、鳥羽城です。講座を受けてぜひ鳥羽を訪れてみませんか?

1/12.19.26 2/9.16[水] セミナー室Aほか

女性のための自分を好きになるトレーニング

10:00開講 料金:無料 定員:24名 対象:県内在住・在勤・在学の女性 講師:増井さとみ(ウィメンズカウンセリング名古屋YWCAフェミニストカウンセラー)



「自分ってダメ...」「ありのままの自分でいいわけがない」と思いませんか?女性が家庭や職場の人間関係の中で「自分は今の自分で価値がある人間なんだ」と思えるようになることをめざし、学び、考え、実践する講座です。

3/3[木] 多目的ホール

加羽沢美濃のクラシック音楽講座

14:00開講(13:30開場) 講師:加羽沢美濃(作曲家・ピアニスト) 全席自由 1,500円



「少しでも多くの人にクラシック音楽を身近に。」作曲家・加羽沢美濃と三重県文化会館がお届けする、人気企画です。作曲家シリーズ第5弾はチャイコフスキーを取り上げます。

3/21[月・祝] 大ホール

かるみーといっしょシリーズ 今泉先生とぞんねんないきもの ~イケてる進化のはずだったのに!~

13:30開講(12:45開場) 講師:今泉忠明(日本動物科学研究所) 料金:無料 要事前申込・抽選制・指定席 ※未就学児入場可



ぞんねんないきものはどうしてぞんねんなの?動物学者ってなにをしているの?『ぞんねんないきもの事典』の監修者・今泉忠明さんにいきもの進化の不思議を聞いてみよう!大人も子どもと一緒に学べる講座です。

主催 三重県総合文化センター主催事業 U30割 30歳以下は当日年齢証明提示で割引 学生向けサービス 25歳未満の学生に限り当日の空席を1,000円で販売します。 往...開演35分前に津駅西口発の臨時バス運行 復...終演後に津駅西口行きの臨時バス運行





現代劇、伝統芸能、バレエ・ダンス、ミュージカル、オペラなどについて執筆。第10回日本ダンス評論賞第一席。ウェブマガジン「ONTOMO」で聴覚面から舞台を紹介する「耳から「観る」舞台」、バレエ雑誌「SWAN MAGAZINE」で「バレエファンに贈る オペラ万華鏡」、バレエ専門ウェブメディア「バレエチャンネル」で「ステージ交差点」を、ウェブサイト「タイムアウト東京」で対談シリーズ「STAGE CROSS」を連載中。

撮影：中村悠希

高橋彩子 演劇・舞踊ライター

Ayako Takahashi

Performing arts vol.3

# 命が煌めく文楽の世界

よく言われることだが、現代において、死は日常から遠い所へと追いやられている。かつてのように大家族で暮らし、老若男女様々な人間が濃密に関わって暮らしていた時代とは異なり、今では命の誕生はもちろん、その終焉に立ち会う機会もめっきり減った。以前よりは死が頻繁に報じられるパンデミック下ですら、実際にそれを目にするわけではない。しかし劇場では、多くの死が私達に迫ってくる。そして、意外に思われるかもしれないが、生身の人間ではなく人形が演じる文楽は、極めてリアルに死を表す芸術だ。



撮影：青木信二

まず、歌舞伎にも多く移植されている時代物。そこではしばしば、主君や恩義ある相手のため、大切なわが子の命を差し出す親の姿が描かれる。『一谷嫩軍記』では、源氏の武将・熊谷次郎直実が、一の谷の合戦で平敦盛を討ち取ったと見せかけて、自身の一子・小次郎の首を主君・源義経に渡す。実は敦盛が後白河法皇の胤という貴い血筋であるため、義経が直実に自分の子を身代わりにするよう命じたのだ。小次郎の首を見て、その場にいた敦盛の母・藤の方、小次郎の母・相模が驚く中、義経は敦盛の首だと断定する。歌舞伎でも生首は登場するが、すべてを人形が演じる文楽では首も本物にしか見えず、かわいい息子の首を平然と差し出す直実の胸中はいかばかりかと胸が締めつけられること間違いなし。辛い務めを果たしたあと、出家姿となった直実が「十六年一昔、夢であったなあ」と悲しみを嘯みしめ、誰もが涙の中で別れるラストは、観客もまた涙なくして観られない。

そして、文楽と言えば近松門左衛門、近松と言えば……の心中物。そこでは想い合う男女が、社会の仕組みや人間関係のしがらみの中で、やむにやまらず死を選ぶ。『曾根崎心中』の場合、醤油屋の手代・徳兵衛は、遊女・お初と愛し合うが故に伯父でもある主人からの縁談を断ったはずだったが、強欲な継母が勝手に持参金を受け取ってしまい、返すはずのその持参金を油屋の九平次に頼み込まれて貸したことから悲劇は始まる。実は九平次は金をだまし取っており、徳兵衛は犯罪者に仕立て上げられてしまう。徳兵衛を悪しざまに言う九平次を前に、お初が縁の下に潜んでいる徳兵衛へ独り言のように心中の覚悟を問い、徳兵衛がお初の足首を喉に当ててこれに答える「天満屋の段」の、哀しさと共に仄かに立ち上る艶めかしさ。「この世の名残、夜も名残」で始まる語りと共に徳兵衛とお初の心中の道行が始まる「天神森の段」では、帯で二人の体を結び、徳兵衛が目を閉じるお初を脇差で刺して、自らも果てる。それまで呼吸や胸の鼓動が聞こえそうほど生き生きと動いていた人形が崩れるように折り重なるさまは、人間が演じる以上に死の儚さを感じさせる。

「死」を連呼したが、それは命の最後の煌めきであり、また、残され嘆く人間の生を際立たせるものにほかならない。『一谷嫩軍記』と『曾根崎心中』を上演する3月の文楽公演では、太夫、三味線と共に人形が燃やす命の炎を、とくと味わってほしい。

3/21 [月・祝] 中ホール 2/16 [水] 多目的ホール

## 人形浄瑠璃 文楽 (字幕付き)

【昼の部】「一谷嫩軍記」13:00開演 【夜の部】「曾根崎心中」17:00開演  
全席指定 S席3,500円、A席2,500円 昼夜通し券 S席6,000円、A席4,000円  
〒390-0001 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122

関連イベント  
楽楽文楽塾  
一文楽のツボ

詳細は P4

# フィルム!

## 気軽に楽しむ文化のレクチャー

音楽ジャーナリスト。著書に『はじめてのクラシック マンガで教養』[監修・執筆](朝日新聞出版)、『クラシック音楽のトリセツ』(SB新書)、『R40のクラシック 一作曲家はアラフォー時代をどう生き、どんな名曲を残したか』(廣済堂新書)他。音楽誌、プログラムノート等に幅広く執筆。テレビ朝日「題名のない音楽会」音楽アドバイザーなど放送の分野でも活動する。



飯尾洋一 音楽ジャーナリスト

Yoichi Iio

Music vol.7

# 変わりゆくコンクール

今年のショパン・コンクールには本当に驚かされた。第2位に反田恭平さん、第4位に小林愛実さんが入賞したのは快挙だ。だが、ふたりとも高い実力の持ち主であることは以前よりよく知られており、上位入賞したことはまったく驚きではない。

驚きはコンクール期間中のファンの盛り上がりぶりであった。ショパン・コンクールでは第1次予選から第2次予選、第3次予選、ファイナルに至るまで、コンテストのすべての演奏がYouTubeでライブ配信される。アーカイブも残るので、だれもがいつでも無料で観ることができる。コンテストは全部で87名。予選が進むにつれて人数が絞られ、最終的には12人がファイナルに進出した。あたかもサバイバルレースのように進行し、SNS上では途中結果が発表されるたびに一喜一憂するファンの姿があった。

反田さん、小林さんのほかにも、今回は角野卑斗さん、牛田智大さんといった人気ピアニストが参加しており、彼らを応援する声もたくさん聞こえてきた。それだけではない。配信を通じて「ガジェヴの演奏が神がかっている!」「ガルシア・ガルシアっていう人の演奏が楽しい」など、みんなが新たな才能を発見して興奮していたのだ。

従来、コンクールでの入賞は「スタートラインに立つこと」であるとみなされてきた。つまり、無名の若手がコンクールで賞を獲得することにより、名前を知ってもらい、演奏会の機会を得ることができる。優勝してもその時点ではやっとスタートラインに立っただけで、その後、プロとしてやっていけるかどうかはこれから次第。若手の登竜門にすぎなかった。

ところが今回のショパン・コンクールでは、すでにかかなりの知名度を持っているピアニストたちが大勢集まっていた。しかもすべての演奏がYouTubeで配信されるため、コンクールでの演奏そのものがファンを巻き込んだ一種のコンサートのようになっており、もはや単なるスタートラインとは言いづらい熱いムードが生まれていた。これはコンクールというよりお祭りでは。そんなふうに錯覚してしまうこともしばしばあった。

演奏家にとってはよい時代がやってきたと思う。コンクールでの演奏が新規のファンを獲得するビッグチャンスになったのだから。今までは関係者だけのためにひっそりと演奏していた場が、今や檜舞台として機能しているのだ。今後、有名コンクールの「フェスティバル化」はますます進むにちがいない。



これからの活躍が期待できるアーティストの演奏を500円で聴ける人気のワンコインコンサートシリーズ。ショパン・コンクール第2位の反田恭平さんとアレクサンデル・ガジェヴさんも過去に出演されました。

2022年度のラインナップは、次号Mnewsで紹介する予定です。お楽しみに!

※2022年1~3月は、平日に文化会館棟の改修工事を行うためワンコインコンサートの開催はございません。

### 資産運用のご相談は 三十三銀行へ!

お客さまのニーズに合った資産運用を、親身に、わかりやすくご提案します。初めての方もお気軽にご相談ください。

**三十三銀行**

世界をつなぐ、モノづくり。

**住友電装**  
Connect with the Best

## 宮の雪

山廃仕込 特別純米酒

宮崎本店は弘化三年創業(西暦1846年)、爾来百七十有余年「品質本位」を社是にお客様に喜ばれるお酒造りを続けています。

宮崎本店 四日市市橘町南五味塚972番地  
TEL059-397-3111  
E-mail:info@miyanoyuki.co.jp

## Face to Face 三重県信用金庫協会

桑名三重信用金庫 北伊勢上野信用金庫 津信用金庫 紀北信用金庫

製造直売 野田のあられ

創業昭和9年 伝統の味

## 株式会社 野田米菓

【営業時間】 9:30~18:30 【定休日】 火曜日  
http://www.nodabeika.co.jp  
■ 店舗 津市大里睦合町2584-4 TEL059-230-0771 FAX059-230-2598



※新型コロナウイルス感染症の影響により開館状況が変更となる可能性があります。最新の情報は各館のウェブサイトをご覧ください。

※MieMuクーポンの掲載はおやすみします。

## 三重県立美術館

# 三越呉服店から、売れっ子デザイナーあらわる

三重県立美術館インフォメーション  
津市大谷町11 TEL059-227-2100 FAX059-223-0570  
開館時間：9:30～17:00(入館は16:30まで)  
休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始  
ホームページ：<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/>



この冬、美術館ではグラフィックデザインの草分け杉浦非水(1876-1965年)の大回顧展を開催します。愛媛県に生まれ、はじめ日本画家を目指して上京しますが、洋画家黒田清輝のもとでフランスの雑誌などを見たことをきっかけにデザインの道に進みました。当時の日本では、今日グラフィックデザインと呼ばれる分野についての専門家はおらず、その必要性も広く理解されていませんでした。そのような時代に、非水は西洋のデザインを模写して独学し、デザインのあり方について研究を重ねながら、少しずつ仕事を覚えていきます。

細々と仕事をしてきた非水を一躍有名にしたのは、1908年より27年間勤めた三越呉服店での仕事でした。ご存知の通り、三越呉服店は松阪出身の三井高利による三井越後屋を起源としますが、非水の入社時にはイギリスのハロッズ百貨店をお手本に、西洋式のデパートへの転換を図っていました。三越は流行を創り出して消費を促すこと、独自の商品や広告制作に力を入れるようになり、非水はデザインの分野からこれを手助けしています。

挿図のポスターは、1914年春の陳列会のために描かれたもの。ほほえむ令嬢は、髪をリボンで結び、手に宝石付きの指輪を光らせたモダンな装いです。朱色の着物に舞う色とりどりの蝶に目を奪われます。若い女性の姿を描く「美人画ポスター」は、当時多く作られましたが、本作では魅力的な女性ではなく、椅子や着物の鮮やかな模様こそが主役となっています。後に非水が述べるように、蝶や花模様の各所に見られる渦巻き模様、机の脚などに効果的に用いられる直線は、当時流行のウィーン・セセッション様式を採り入れたもの。華やか

でありながら先端的な流行をとらえた本作は、まさに流行を創り出して人々を刺激する、陳列会の狙いをよく理解したものでした。

非水は制作の際、色づかいや構図はもちろん、デザインするものの素材、そして広告のメッセージと調和などについても研究を重ねています。そのデザインは、いつしか「三越の非水



《三越呉服店 春の新柄陳列会》 1914年 愛媛県美術館

か、非水の三越か」とささやかれるほどに好評を博し、新しい三越呉服店のイメージを効果的に宣伝することになりました。

デザインのあるべき姿を考え、デザインの可能性を切り拓いた非水。その作品は、流行や時代の変化を超えて、今も色あせない魅力を持っています。ぜひ美術館で作品をご覧ください。

(高曾由子/三重県立美術館 学芸員)



「三越」第十七巻第七号 1927年 愛媛県美術館

## 杉浦非水 時代をひらくデザイン

会 期：2021年11月23日[火・祝]—2022年1月30日[日]  
観覧料：一般1,000(800)円、学生800(600)円、高校生以下無料  
※( )は前売りおよび20名以上の団体料金

東海地方では初めてとなる杉浦非水の大規模回顧展。ポスター、書籍装丁、パッケージデザインの数々から、グラフィックデザインの草分けの生涯をたどります。三越呉服店時代の広告から、デザイン史の名作として知られる代表作《東洋唯一の地下鉄道 上野浅草間開通》に加え、制作過程を示す下絵、スケッチ、遺愛の品なども多数展示。

## 三重県総合博物館(MieMu:みえむ)

三重県総合博物館インフォメーション  
津市一身上津部田3060 TEL059-228-2283 FAX059-229-8310  
開館時間：9:00～17:00(入場は16:30まで)  
休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始  
ホームページ：<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/>



博物館に収蔵している資料のすべては、各分野を担当する学芸員の「押し資料」であることは言うまでもありません。今回はそれらの中から、学芸員の「押し」とも言える、是非ともご覧いただきたい資料や、当館ならではの活動をご紹介します。

博物館に収蔵しているものは、「収蔵資料」あるいは単に「資料」と呼ばれます。この「資料」として集積されるのは、実体のある「モノ」資料だけでなく、形のない「コト」つまり情報も含まれます。過去から現在までのモノ・コトを集めて将来へ残す役割を担っている博物館は、よくタイムカプセルに例えられます。世界のすべてのモノ・コトをタイムカプセルに収蔵して将来へ残せれば言うことはありませんが、それはかないません。そこで、たくさんのモノ・コトの中から何を残すべきかを考え、選びぬくのが学芸員の腕の見せ所と言えるでしょう。



写真2:細川藤孝書状

それでは、展示予定の資料の一部をご紹介します。博物館に収蔵しているモノ資料は、学芸員が自らの調査研究で収集したもののほか、地域の方から寄贈いただいたものも多くあります。今回、展示する資料の一つが、このような寄贈資料です。このうち、津市内の方から寄贈いただいた昆虫標本(写真1)は、毎晩、自宅の光に集まるガ類を採集されたものです。この標本からわかることは、これらのガ類がそこに生息していたこと、季節によって集まる種類が異なること、これらが生息できる自然環境(餌となる動植物の存在を含む)が周辺にあったことなど、多岐にわたります。さらに、近年ではDNAを用いた研究も進んでいることから、博物館に収蔵している他の標本と比較することでさらに多くの情報を得られるでしょう。標本がもつこれらの情報は、その時の自然環境の証拠標本として、将来へ受け継がれていきます。近年、宅地開発やソーラーパネルの設置などで、ちょっとした緑地もなくなってしまふことが多く、去年までいた生き物が今年は見られない、ということが多くあります。身近な、ふつうに見られる生き物こそ、環境変化の指標として、重要な存在となり得るのです。



写真3:  
根付 丸鼠(三代正直)

この他にも、今回のトピック展では分野を超えて様々な資料を展示します(写真2,3)。ぜひ、学芸員の「押し」資料と、なぜそれが一押しなのかも、ご覧いただきたいと思います。

(森田奈菜/三重県総合博物館 学芸員)

## 三重県総合博物館 トピック展 集結!学芸員の「押し」資料

会 期：2022年1月29日[土]—4月6日[水]  
観覧料：基本展示の観覧料で観覧可能。  
一般520(410)円、学生310(240)円、子ども無料(高校生以下)  
※( )は20名以上の団体料金

学芸員が日頃の調査・研究や資料収集を行う中で得られた情報や成果を、展示ケース一人一台分で分かりやすく紹介します。当館が開館してからこれまで積み重ねた情報や、コロナ禍により博物館活動が制約を受けた中で進めた各学芸員の取り組みなどを展示し、「博物館ではどんな人が、どんな仕事をしているのか」についても紹介します。当館の職員全員が皆さまにぜひご覧いただきたい選りすぐりの逸品をお楽しみください。



写真1:津市産蛾類寄贈標本(一部)



## 三重県立図書館インフォメーション

津市一身田上津部田1234(三重県総合文化センター内)  
TEL059-233-1180 FAX059-233-1190 開館時間:9:00~19:00  
休館日:毎週月曜日(祝日の場合は、翌平日)、  
月末(土日祝日の場合は、直前の平日)  
年末年始(12/29~1/4)、特別整理期間(3/2~11)



図書館に行こうかなと思ったら「閉まってるちょー!!!」しかも、今週はずーっと休館…  
何をしているんだろう…と気になったかるみーは、図書館をのぞいてみた。

### 何をしているの?

「蔵書点検」といって、年に1回本がきちんと正しい場所にあるかどうかを確認しています。点検する蔵書は年度ごとに異なりますが、閲覧室の本は毎年全て点検しますし、地下書庫にもたくさんあるので、10日間ほど休館して職員が手分けして集中的に作業をしています。今回の作業では約80万冊の本を点検します。また、この期間(特別整理期間)にあわせて、開館中にはできないような、貴重資料の燻蒸(虫や卵の駆除)、棚の移動、システムメンテナンスなどを行う時もあります。

あるべき場所に本がちゃんとあると、みんなも探しやすいね!  
年に1回蔵書点検をすることはとても大切なんだね。かるみーも応援しているちょ!

### 蔵書点検って どんなことをしているの?

まず、最初の4日間程度で、ハンディターミナルという機械をつかって、本に貼ってあるバーコードを1冊ずつ読みます。その後は、その情報と図書館の所蔵データとをつきあわせて、所在不明になっている本を捜索します。



## 潜入蔵書点検の現場

たくさんの本を1冊ずつチェックするのって大変だね

1人あたり1時間1200冊のバーコードを読み込むことを目標としています。1200冊とはおおよそ、図書館の大きな棚1つ分ぐらいになります。職員だけでなくボランティアさんにも作業に入ってもらっていますが、4日間で1人あたり2万冊以上をチェックすることになりますね。作業はとても地味なのですが、筋肉痛が酷くて…肩もパンパンになります。

### 所在不明の本は見つけれられるの?

全く別の棚から見つかることがありますし、本棚の後ろに落ちてしまっていた…ということもあります。バーコードの読み込み漏れという可能性もあるので、慎重に作業しなければなりません。それでも見つからない場合も、やはりあります。毎年点検で10数冊ほどは残念ながら所在不明となっています。

県立図書館公式YouTubeチャンネルで蔵書点検の様子をご覧いただけます!

図書館からのお知らせ:2022年3月2日から11日まで特別整理期間のため休館します。



井村屋  
**肉まん あんまん**  
井村屋株式会社

放送大学 4月入学生募集  
学ぶ教養がある。活かす教養がある。  
《4月入学出願期間》  
第1回募集 令和3年11月26日(金)~令和4年2月28日(月)  
第2回募集 令和4年3月1日(火)~令和3年3月15日(火)  
放送大学は、テレビやラジオ、インターネットを通して学習できる通信制大学・大学院です。  
・1科目(2単位)11,000円(教材費含む)から  
・入学試験はありません。(大学院生科生を除く)  
・キャリアアップ(現職職員・有資格者)や資格取得、生涯教育など目的に応じた学びができます。  
放送大学三重学習センター  
〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234 三重県総合文化センター4F  
TEL059-233-1170 FAX059-233-1179  
放送大学三重学習センター

令和3年度 教育学部卒業記念  
ミュージカル★公演 2/27日  
演題 不思議の国のアリス  
~声に出そう自分の言葉・聞いてみよう相手の言葉~  
開場/13:00 開演/13:30  
会場 三重県総合文化センター 中ホール  
【お問い合わせ】0596-22-8600 (企画部) 入場無料 要予約  
Japan to the NEXT 〒516-8555 伊勢市神田久志本町1704  
https://www.kogakkan-u.ac.jp  
皇學館大学 文学部 / 神道学 国文学部 国史学 国史学 国文学部 現代日本社会学部

電気・空調・電気通信・消防施設・設計施工  
有限会社 江藤電設  
本社 〒514-2222 三重県津市豊が丘1-44-13  
作業所 〒514-2211 三重県津市芸濃町椋本2945-6  
電話(059)266-1066 FAX(059)266-1067

創業37年の信頼と豊富な実績  
不動産の鑑定評価・補償コンサル  
企業経営・6次産業化支援  
M&A・事業承継支援  
空き家・相続・資産管理のためのアセットファイルの作成(商標登録)  
コクド鑑定調査株式会社  
日本不動産鑑定士協会 / 日本補償コンサルタント協会 / 三重県中小企業診断協会各会員  
津市広明町121-2 / TEL 059-224-0131 / FAX 059-227-2494

玄関先までお届け、  
お一人から利用できます!  
安全・安心、注文もらくらく  
暮らし素敵にコブみえ  
生活協同組合 コブみえ ネット注文でさらに利用しやすく!!  
0120-514-460 コブみえ 検索

読者アンケート応募用紙

※詳しくは裏面をご覧ください。  
※ご記入いただいた個人情報、プレセントの発送とアンケート集計分析に使用します。  
また個人情報保護法に基づき適切に管理いたします。

三重県総合文化センター情報誌「Mnews」についてお尋ねします。

- 「Mnews」を読むのは?  初めて  時々  毎月
- どこで入手されましたか?  
 三重県総合文化センター館内  新聞折込  ダイレクトメール  
 公共施設(役所・図書館・文化施設など)  
 商業施設(ショッピングセンター・映画館・飲食店・お店など)  
 その他施設(病院・駅・宿泊施設など)  
 その他( )
- おもしろかった記事、興味を持たれた記事は何か?(複数回答可)  
 表紙  特集1  特集2  主催事業ピックアップ  
 イベント・企画・コラム  
 カルチャー! 気軽に楽しむ文化のレクチャー  
 Znews文化交流・オンライン・オフライン(美術館・博物館・図書館)
- 内容について  
 満足  ほぼ満足  やや不満  不満  
 見やすさについて  
 満足  ほぼ満足  やや不満  不満
- その他お気づきの点、ご要望などをお書きください。

希望のプレゼント番号をご記入ください。→  
(裏面をご覧ください)

ご住所 〒

お名前

性別

ご年齢  ~10代  20代  30代  40代  
 50代  60代  70代~

個人情報目隠し  
のりしろ ①  
のりしろ ②





- 交通のご案内 近鉄・JR線、伊勢鉄道「津駅」より徒歩約25分  
 鉄道 近鉄名古屋線・JR紀勢本線・伊勢鉄道「津駅」下車  
 バス 三重交通路線バス「津駅西口」から約5分  
 タクシー 近鉄名古屋線・JR紀勢本線・伊勢鉄道「津駅西口」から約5分  
 自家用車 伊勢自動車道芸濃インターから約15分、津インターから約10分  
 ※名古屋から約1時間、大阪から約1時間40分  
 ※無料駐車場(約1,400台)があります。催しが多く開催される日は大変混み合いますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。
- 開館時間のご案内 9:00~19:00(貸館等で使用する場合を除く)  
 ※チケットカウンターは10:00~17:00、アートショップMikke(みっけ)、レストラン、売店、ステップアップカフェの営業時間は、ホームページ等でご確認ください。

次号予告 3月発行 「Mnews」vol.137 | 2022年度がはじまる! 注目イベントをかるみーが紹介!



エムニュースは次の場所で入手可能です。三重県総合文化センター一館内、三重県庁・市町役場・市町図書館、三重県内公共文化施設、チケット発売所、三重県内道の駅、三重県内病院・歯科医院、三重県総合文化センター周辺のお店、ショッピングセンターなど。また、三重県文化会館シアターメイツ会員には無料で送付しております。詳しくはシアターメイツ事務局まで(059-233-1116) 上記の他にも、多数の企業・団体・公共施設の皆様に配布のご協力をいただいております。

Vol.136号 発行/2021年12月(季刊)  
 発行元/(公財)三重県文化振興事業団  
 レイアウトデザイン・構成制作(構成デザイン室)  
 やむを得ない事情により出演者等の事業内容が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。  
 ●WEBサイト www.center-mie.or.jp/  
 こちらからもご覧いただけます。

- 休館日のご案内 毎週月曜日(祝日の場合は、翌平日)  
 12月29日~1月3日、県立図書館のみ月末日及び特別整理期間も休館  
 県立図書館 TEL059-233-1180 http://www.library.pref.mie.lg.jp/

● 県立図書館休館日カレンダー (■は休館日)

1月							2月							3月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
						1				1	2	3	4	5			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12	
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19	
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26	
23	24	25	26	27	28	29	27	28	27	28	29	30	31	27	28	29	30	31			
30	31																				

※3月2日~11日は特別整理期間

MIE CENTER FOR THE ARTS  
**三重県総合文化センター** 〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234  
 TEL059-233-1105 FAX059-233-1106  
 三重県総合文化センターは、文化会館・生涯学習センター・男女共同参画センター「フレンドみえ」・県立図書館・放送大学三重学習センターから構成される複合文化施設です。

事業協賛会員 公益財団法人岡田文化財団 百五銀行 三十三銀行 三重県協同組合連絡協議会(JA・漁協・労福協・中小企業団体中央会)

一般協賛会員 株式会社モクモク手づくりファーム 三重県舞台管理事業協同組合 KYBステージエンジニアリング株式会社 住友電装 三重テレビ放送 三重電業株式会社 株式会社チカザワ 宮崎本店 中継電力パワーフレッド

昭永工業株式会社 岡三証券株式会社 三重交通株式会社 日本トランスシティ株式会社 東芝ライテック株式会社 三重県信用金庫協会 三重県信用保証協会 鈴鹿医療科学大学 株式会社野田米菓

株式会社東海ダイケンビルサービス 井村屋グループ株式会社 伊藤印刷株式会社 朝日屋 岩間造園株式会社 株式会社東洋軒 学校法人皇学館 三重県職員信用組合 ホテルザ・グランコート津西 アスカ印刷

レディオキューブFM三重 株式会社光機械製作所 ZTV 医療法人誠仁会 塩川病院 有限会社江藤電設 三菱電機プラントエンジニアリング株式会社 コジク鑑定調査株式会社 生活協同組合コープみえ 放送大学三重学習センター

三アムラ 近畿ビルサービス株式会社 株式会社鈴工 東晋商事 東報電産株式会社 ヤマハサウンドシステム株式会社 社会福祉法人洗心福祉会 医療法人津健康クリニック 赤塚植物園グループ

緑豊かな暮らしと共に! 山本造園 東京ライフギャランティー株式会社 株式会社ビスビツ 株式会社エスパ ダイソウ工業株式会社 株式会社グリッドウェブ アーストンボール

人と地域に寄り添い、同じ未来を見つめる銀行。

FRONTIER BANKING

お気軽にご相談ください。  
 (資産運用 住宅ローン ビジネスローン)

百五銀行 FRONTIER BANKING  
 インターネットホームページ <https://www.hyakugo.co.jp/>

三重県職員信用組合

三重県津市広明町13番地  
 TEL059-228-5205 FAX059-228-3700

三職信 検索

Mnews 読者プレゼント アンケートにご協力いただいた方から抽選でプレゼント!

応募締切日 2022年2月10日(木) 必着

スマートフォン・パソコンからも応募いただけます  
 右のQRコードを読み取るか、下記URLを直接入力いただき、スマートフォン・パソコン・タブレット端末からご応募ください。  
<https://www.center-mie.or.jp/mnews/inquiry136.html>

下記のアンケートはがきにご記入のうえ、切り取ってお送りください。ご協力いただいた方の中から抽選で、以下から1種類を合計23名様にプレゼントいたします。※当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

1 ペア2組様

久石讓指揮  
 新日本フィルハーモニー交響楽団  
 特別演奏会  
 S席ペアチケット  
 2022年3月19日(土)  
 16:00開演 大ホール

2 ペア2組様

人形浄瑠璃音楽  
 夜の部:曾根崎心中  
 S席ペアチケット  
 2022年3月21日(月・祝)  
 17:00開演 中ホール

3 4名様

紙やすりを使って自分だけの尾鷲ヒノキのスプーンを作ってみませんか?  
 アートショップMikke  
 人気グッズ  
 育てるスプーンキット  
 BONOBO JAPAN

4 5名様

かるみー賞  
 かるみーパッケージの「そうぶんブレンドコーヒー」をプレゼント!

5 ペア10組様

三重県立美術館  
 コレクションによる特別展示  
 春をまちわびて  
 ペアご招待券  
 2022年  
 2月23日(水・祝)~4月3日(日)

※ご記入いただいた個人情報は、プレゼントの発送とアンケート集計分析にのみ使用させていただきます。また、個人情報保護法に基づき適切に管理いたします。  
 ※回答は、アンケートハガキ・インターネットいずれか1回に限定させていただきます。

読者アンケート応募用紙 ※裏面のアンケートにご回答ください。

切手は不要! このままポストに投函してください。また、個人情報保護法に基づき適切に管理いたします。

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234  
 三重県総合文化センター 総務部 企画広報係 行

〒514-0061 津中央局 承認 6256  
 2022年3月31日 まで(切手不要)

料金受取人私郵便

「Mnews」アンケート「たまにはフジコに聞いて」  
 文化交流ゾーンの各施設(三重県総合文化センター、県立図書館、県総合博物館、県立美術館)について、気になる疑問、質問はありませんか? 一部紙面にて紹介させていただきます。※フジコはMnews編集者です。

疑問、質問を自由にご記入ください。

アンケートは裏面につきます